

# 市議会

News From Iseaki  
City Assembly Report

平成28年  
7月16日  
No.58

# いせさき



- 第3回定例会が開かれました
- 伊勢崎市市税条例等の一部を改正する  
条例案など15議案が可決されました

境赤レンガ倉庫で開催の境にぎわい市

## 第3回定例会

6月10日～6月27日

定例会の概要 …… 2P  
主な議案の概要 …… 2P  
一般質問 …… 3～9P  
常任委員会審査 …… 10P

議案等審議結果 …… 10～11P  
政務活動費収支報告 …… 11P  
表彰 …… 12P  
議員提出議案 …… 12P

### 第3回定例会の概要

今定例会の市長提出議案は、条例関係4件、人事案件4件、その他6件の合わせて14件です。また、議員提出議案は1件です。(審議結果は、10ページから掲載)

#### ■6月10日

本会議が開かれ、第3回定例会の会期を6月27日までの18日間と決め、会議録署名議員の指名を行いました。

次に、矢島征司氏及び北島元雄氏が、議員在職25年により、また、羽鳥基宏氏が、議員在職10年により、全国市議会議長会からそれぞれ表彰されたことに伴い、その伝達式を行いました。

続いて、野田文雄氏が、全国市議会議長会評議員として会の運営に尽くされた功績により、全国市議会議長会から感謝状を受賞されたことに伴い、その伝達式を行いました。

次に、市議会では矢島征司氏及び北島元雄氏を、伊勢崎市議会議員顕彰規程に基づき、永年在職特別功労者として顕彰するとともに、市長から感謝状が贈られ、矢島征司氏の肖像画を議事堂内に掲げました。

次に、伊勢崎市市税条例等の一部を改正する条例案など9議案について、市長から提案理由の説明があり、質疑が行われた後、所管の各常任委員会に

審査を付託しました。

#### ■6月13・14日

一般質問が行われ、14人の議員が質問し、市長、教育長、選挙管理委員会委員長、監査委員及び所管の部長から答弁がありました。(一般質問の概要は、3ページから掲載)

#### ■6月16日

総務委員会が開かれ、付託された2議案及び請願について審査が行われました。

#### ■6月17日

文教福祉委員会が開かれ、付託された4議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

#### ■6月20日

経済市民委員会が開かれ、所管事務調査が行われました。

#### ■6月21日

建設水道委員会が開かれ、付託された3議案について審査をした後、所管事務調査が行われました。

(各委員会の審査の概要は、10ページに掲載)

#### ■6月27日

本会議が開かれ、各常任委員長から付託された議案について報告があり、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

続いて、境よく保育所新築工事請負契約の締結について市長から提案理由の説明があり、原案のとおり可決されました。

次に、人権擁護委員候補者の推薦について4議案を審議し、異議ないもの

### 市政運営について



伊勢崎クラブ 原田 和行

**質問** 五十嵐市長は、本市の第2代目市長に就任して以来、2期7年半が経過します。

1期目では、リーマンショックによる厳しい経済状況や東日本大震災に遭遇する中、社会状況を的確に把握され、市民生活の安定を第一に、速やかな対応を図ってきました。2期目は、福祉・地域医療の充実を重点に掲げ、県央20万都市として、元気にあふれ、誰もが住みやすい魅力あるまちの実現に向け、卓越した手腕を発揮した市政運営に心から敬意を表します。

そこで、市長の今までの市政運営の総括と今後の展望、3期目への決意を含めたお考えをお聞かせ願います。

**答弁** 1期目の4年間は、緊急経済対策を第一に掲げ、市民生活の安定に向けた効果的な措置を講じることに努めて、市民の暮らしを最優先させる施策を進めてきました。

平成25年からの2期目は、福祉・地域医療の充実を筆頭に、地域経済の活性化、安心・安全なまちづくり、教育・文化・スポーツの振興、そして行財政改革の5つの重点政策を掲げ、実現を目指して進んできました。さらに、夢ふくらみ安心して暮らせる元氣都市いせさきの実現を目指す、第2次伊勢崎



市政運営の今後の展望は

市総合計画を策定してきました。この約7年半、まだまだ課題はありますが、市民の視点に立った、分かりやすい市政運営が果たしてきたのではないかと考えています。

次に、今後の展望と市長選挙への決意ですが、第2次総合計画も2年目を迎え、活力ある元氣な都市を目指した各種施策の展開も始まっています。

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略では、仕事が人を呼び、人が仕事を呼び、まちの活力が向上する地方創生をより深化させる取り組みを進めたいと考えています。

健康状態も良好で、気力も充実しています。今後も市民の暮らし最優先の着実なまちづくりを担わせていただけるよう努力していくことを御約束し、来年1月の市長選挙への立候補の決意表明といたします。

### 主な議案の概要

伊勢崎市市税条例等の一部を改正する条例案

地方税法の一部改正に伴い、改正の必要を認め、あわせて条文の整備を図るものです。

延滞金の計算期間から一定の期間を控除する規定の整備を図るとともに、個人市民税においては、検診や予防接種などを受けている人が特定一般用医薬品を購入した場合に、所得控除を受けられる医療費控除の特例を新設するものです。

固定資産税においては、太陽光発電設備及び風力発電設備に係る課税標準の特例割合を3分の2、水力発電設備、地熱発電設備及びバイオマス発電設備に係る課税標準の特例割合を2分の1と、それぞれ国の基準を参酌し定めるものです。

伊勢崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

国の定める基準の一部改正に伴い、当該基準に従い、人員に関する規定を改めるものです。

### 外環状道路の整備について



伊勢崎クラブ 田島 勉

**質問** 外環状道路は、赤堀地区、東地区、境地区を結び東部地区のアクセス道路となる計画です。

境共同レーニングセンター西側は、一部拡幅工事が行われて供用を開始しました。それ以北は現行道路を計画に入れて進捗していますが、北関東自動車道の側道を横断して北に抜けると、あずま総合運動公園やあずまウォータールンドがあり、現行道路に歩道や信号機が設置され、安全確保に努力されています。

平成26年12月議会でも一般質問しましたが、都市計画道路の周辺が変化している中で、東地区から境共同レーニングセンター西側を通り主要地方道前橋館林線までの進捗状況と供用開始時期、さらに国の予算状況についてお聞かせください。

また、主要地方道桐生伊勢崎線以北の今後の取り組みについてお聞かせください。

**答弁** 外環状道路の整備における進捗状況ですが、第一期事業である主要地方道前橋館林線から北側の延長700メートルの区間については、平成18年度から事業に着手し、用地買収や工事等の事業を進め、昨年度は早川にかかる人道橋が完成しました。本年度は、

伊勢崎市指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

国の定める基準の一部改正に伴い、当該基準に従い、参酌した上で、人員及び運営に関する規定を改めるものです。

伊勢崎市養護老人ホーム条例を廃止する条例案

伊勢崎市養護老人ホームの老朽化により、民設民営による施設の建設を進めておりましたが、6月1日に新規開設されたことに伴い、廃止の必要を認めました。

消防本部訓練塔建設工事請負契約の締結について

- 工事場所 今泉町二丁目895番地
- 請負代金額 2億6892万円
- 受注者 柏井建設株式会社



消防本部訓練塔建設予定地



桐生伊勢崎線以北の今後の取り組みは

交差点部分の工事を中心に実施する予定です。これまで、当該区間の事業完了を本年度と定め事業を推進してきましたが、社会情勢等の変化により国庫補助金が大幅に削減されたことから、事業年度を1年延伸し、来年度中の完成を目指しています。

次に、主要地方道桐生伊勢崎線から北へ約1400メートルの未整備区間につきましては、現在整備中の区間完了後、社会情勢や財政状況、地域の土地利用の変化を考慮しつつ、地元の要望等をお聞きしながら、事業化の検討をしていきたいと考えています。

#### その他の質問

- 第2次伊勢崎市総合計画における実施計画の見直しの考え方について
- 公共下水道事業と農業集落排水事業について

公共工事における発注金額について



政経クラブ 堀地 和子

質問 元本市職員の贈収賄事件を受け、本市は再発防止策を発表しましたが、議会も原因を探り、再発防止策を提案することも必要と考えます。

工事請負費が1億5000万円以上は、議会の議決が必要です。それ以下の金額は、職位による専決が行われていると思います。そこで、職位による専決区分の金額についてお尋ねします。次に、業者選定委員会の開催要件と開催状況、監査におけるチェック体制についてお聞きします。

また、県では事業にかかるコストを工事標示板に表示しています。発注金額を施工現場に表示することは、事業費を市民に伝える有効な手段と考えますが、市長の見解をお聞きします。

答弁 工事請負費の専決区分については、伊勢崎市職員の職務の範囲を定める規程において、工事請負費の執行に關し、5000万円を超え1億5000万円以下を副市長、2000万円を超え5000万円以下を部長等、500万円を超え2000万円以下を副部長等、500万円以下を課長等にそれぞれ規定しています。

業者選定委員会は、入札方法や指名業者の選定を審議し、予定金額に於いて第一委員会から第三委員会に細分化

しています。開催日程は、年間で決めており、平成25年度及び平成26年度がそれぞれ21回、昨年度が18回でした。なお、今回の贈収賄事件を受け、小規模工事及び修繕における10万円を超え130万円以下の案件は、業者選定委員会のうち副市長を委員長とする第一委員会に報告することとしました。

監査委員によるチェック体制としては、定期監査、例月出納検査、工事監査を実施しています。定期監査は、毎年全ての課を対象に、法令に基づく適正な執行を確認しています。例月出納検査は、毎月、一般会計、特別会計及び公営企業会計の書類検査により、適正な支出を確認しています。工事監査は、書類監査に加え、抽出した案件について専門的な知識をもつ外部機関に技術調査協力を得て実施しています。

本市の発注工事は、県の建設工事必携を準用していますが、施工現場への発注金額の表示は、県のように確立した制度としては行われていません。今後、工事の規模、内容及び道路事情などさまざまな状況に応じた工事看板の設置基準等について、総合的に調査、研究していきたいと考えています。

その他の質問 ●食品リサイクル法への対応について

介護予防・日常生活支援総合事業について



伊勢崎クラブ 新井 智

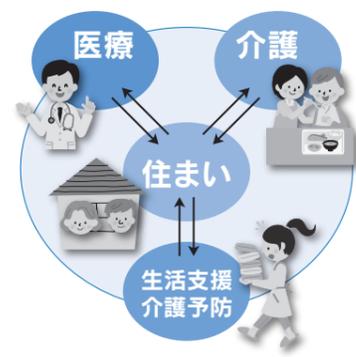
質問 我が国も高齢化が進み、団塊の世代が75歳以上となる平成37年をめぐりに、地域包括ケアシステム構築の実現が市町村に求められています。

平成27年の介護保険法の改正では、地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化が改正の大きな柱としてありました。その柱の一つとして、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施が挙げられています。

4月から本市も総合事業として、要支援1、2の認定を受けた人に、従来の訪問型と通所型のサービスを開始したと聞いていますが、総合事業は市が主体となる事業なので、全国一律の介護保険サービスとは異なり、本市独自の事業展開が可能になると思います。

そこで、本市における総合事業の基本的な考えをお聞かせください。また、本市独自のサービス内容及び事業の効果をお聞かせください。

答弁 本市の地域包括ケアシステムは、高齢者が住みなれた地域での生活を継続するため、日常生活圏域に心身機能の状態や、生活環境の変化に応じた、医療・介護・予防・住まい・生活支援を柔軟に組み合わせ提供できる仕組みを構築することと捉えています。本事業を進めて行く上での基本的な



地域包括ケアシステム

その他の質問 ●グローバル教育について

考えとして、高齢者本人の自発的な意欲による社会参加が、効果的な介護予防となり、日常生活支援のための基盤整備及び支え合いの体制づくりを行うことが、住みなれた地域で暮らし続けることに資すると考えています。

また、本市では、訪問型サービス従事者等の基準を緩和し、主に生活支援を行う訪問型サービスを計画しています。事業の効果としては、資格を持たない人でも本市の指定した研修を受講することで、サービス提供従事者になることが可能となり、雇用及び就労機会の創出、さらに担い手不足の緩和となります。また、事業者にとっては新規参入の機会となることを想定しています。

田島弥平旧宅について



伊勢崎クラブ 齊藤 優

質問 平成26年6月、ドーハで開催された第38回世界遺産委員会において、田島弥平旧宅が、劇的かつ感動的に登録決定した瞬間を、私は今もありありと思い出すことができます。本市における大きな歴史の現場に立ち会ったという感慨を持ったものです。

世界遺産が存在することに感謝し、将来どのように活用していくか、単なる観光資源ではなく歴史産業資産として本市独自の尊重の仕方を模索するべき時期にきているように感じます。

そこで、世界遺産、田島弥平旧宅の活用が義務教育で有用と思われる。変化の激しいこれからの社会を生き抜くためには、確かな学力、健やかな体、そして豊かな心を育てていかなければなりません。義務教育において地域の先人の労苦の末の偉業を学べば、児童・生徒たちの心に自信や誇りを植えつけられ、生きるための心のとりでを築いてもらうには格好の教材であると思われませんが、お答えをお聞かせください。

答弁 本市では、伊勢崎銘仙を切り口に、本市の産業を支えた絹産業について体験的に学ぶ活動として、全小学校において、児童たちが機織りを体験し、中学校においては、生徒たちが着

物や羽織の着つけを体験しています。また、小学校3年の社会科教材の副読本、わたしたちの伊勢崎市で、田島弥平旧宅について学習しています。主な学習内容は、田島弥平旧宅の資料を活用し、蚕を育てることを中心にした家づくりの特徴について学びます。また、現在も子孫の方がお住まいになり大切に保存していることから、地域の人々の思いについて考えるものです。

さらに、地元境地区の小・中学校では、専門家による授業で田島弥平旧宅の価値や世界遺産登録までの道のりを調べたり、田島弥平旧宅を初めとする境地区周辺に残る養蚕関係の建物を調べてガイドマップの作成等、発展的、体験的な学習に取り組んでいます。

その他の質問 ●新学校給食調理場建設について



田島弥平旧宅の義務教育での活用は

(仮称) 障害者センターについて



伊勢崎クラブ 新藤 靖

質問 (仮称) 障害者センターは、障害者のさまざまな相談や福祉サービスの計画づくりなどを行う拠点とし、障害者やその家族が集まりやすく、気軽に利用できる会議室や多目的スペースなどを備えた専用の施設を整備すると予算概要で説明され、障害者、障害児の方々にとって、福祉の充実の一翼を担う施設として大いに期待されます。

そこで、現在の進捗についてお聞きします。次に、(仮称) 障害者センターを本市が設置することの目的及び役割についてお聞かせください。さらに障害者の方々や御家族の方にとっての利点もお聞かせください。

答弁 現在、消防法や建築基準法の規定に適合させるための整備や、エレベーターの設置を行うとともに、障害者団体からの要望である、障害児を対象にしたフリースペース、通路幅の拡張、ベッドのある多目的トイレ、重症心身障害児が活動できる部屋の整備などを設計に反映し、改修を進めたいと考えています。

次に、目的及び役割ですが、境地域福祉センター内の障害者(児)相談・生活支援センターを全面移転し、基幹相談支援センターとして位置づけ、障



(仮称) 障害者センター

その他の質問 ●福島病院跡地について

華蔵寺公園遊園地について

害者の相談体制の充実を図りたいと考えています。また、委託事業である手話奉仕員養成事業、聴覚障害者ミニデイサービス事業及び朗読奉仕員養成事業等を実施するほか、市が主催する自立支援協議会や自立支援給付認定審査会などの会場の一元化を図ることができそうです。このセンターは、他市に見られるような総合福祉センターとは違い、障害者専用の施設と位置づけていることから、障害者やその家族が情報交換を行い、気軽に集い談話できる憩いの場、障害者団体等の活動の推進が図られる場などの多様な目的と役割を持った施設にしたいと考えています。

市職員の退職後の就業について



政経クラブ 森田 修

質問 本市の元部長が逮捕された記事が新聞に掲載されました。市民からも、いろいろ問いかれます。

そこで、過去3年間における本市職員の退職後の就職状況についてお聞かせください。

次に、外部団体等への再就職についてはどのように考え推薦をしているのか、推薦基準についてお聞かせください。

答弁 就職状況については、平成25年度退職者のうち、外部団体等への再就職先は、伊勢崎市公共施設管理公社2人、伊勢崎市社会福祉協議会7人、伊勢崎法人会1人、群馬県交通安全協会1人、伊勢崎土木建築業協同組合1人、社会福祉法人2人、医療法人1人となっております。

平成26年度退職者については、伊勢崎市社会福祉協議会8人、群馬県交通安全協会3人、群馬県建設業協会伊勢崎支部1人、伊勢崎管工設備協同組合1人、社会福祉法人1人となっております。

また、昨年度退職者については、伊勢崎市公共施設管理公社2人、伊勢崎市社会福祉協議会6人となっております。次に、外部団体への推薦基準ですが、平成25年3月29日に総務副大臣より、



再就職の推薦基準は

地方公務員の雇用と年金の接続についての通知が出され、定年退職者が公的年金の支給開始年齢に達するまでの間再任用を希望する場合は再任用するものとなっております。この通知に基づき本市においても定年退職者が再任用を希望する場合には、原則として再任用しています。外部団体等への再就職につきましては、市に対して個別具体的な推薦依頼があった場合に、退職者の中から適任と認める者を推薦するもので、その基準は特になく、最終的には当該団体の判断により採用が決定されるものとなっております。

その他の質問

●市長と市議会の関係について

●長期不在時における市民税の賦課基準について

学校教育におけるICT活用について



伊勢崎クラブ 六本木摩美

質問 学校教育では、確かな学力、豊かな心、健やかな体といった生きる力を育む教育に力を入れ、国では、学校におけるICT環境整備事業に力を入れ、平成32年度までにデジタル機器の導入を実現させICT教育の本格化を目指しています。

学校教育におけるICTの活用は、教職員にとっても、通知表や指導要録の作成、成績処理、出席管理における作業ミスの軽減、情報の二次処理、転記作業の簡易化など校務の効率化に成果を上げると思います。

そこで、本市の学校教育におけるICTを活用した取り組み及び校務支援システムの整備状況についてお聞きます。

次に、ICT活用による成果と今後の取り組みについてお聞きます。

答弁 本市では、全ての学校に、実物投影機、プロジェクタ、電子黒板、コンピュータなどICT機器の整備が進んでおり、さまざまな授業や学校行事で活用しています。

校務支援システムについては、現在庁内で支援システムの導入委員会を作り、本年度に導入予定で準備を進めています。

次に、ICT活用による成果ですが、



学校教育におけるICTの活用

画像や動画など、視覚的でわかりやすい教材を提示することにより、関心、意欲の向上が図られています。また、複数の考えを一斉に表示することにより、話し合いが活性化され、思考力、判断力、表現力の育成に役立ち、大きな成果を上げています。これからの教育では、「コミュニケーション力、情報発信力、課題解決力などが求められています。タブレット端末などの機器を活用することで、これらの能力をさらに引き出すことができると考えていますので、国や県の動向、他市の状況を注視しながら、教育的ニーズに対応したICTの整備を進めていきたいと考えています。

その他の質問

●選挙権年齢の引き下げについて

●空き家対策について

高齢者の交通安全対策について



伊勢崎クラブ 宮田 芳典

質問 高齢者の交通安全対策についてお伺いします。

現在、70歳以上の運転免許保有者には、免許証更新時に高齢者講習を受講することが義務づけられており、さらに、75歳以上の方には、高齢者講習の前に講習予備検査を受けることが義務づけられています。

高齢者ドライバーによる交通事故増加に歯止めをかけるため、運転免許証の自主返納しやすい環境づくりのため、高齢者運転免許自主返納サポート制度を行っている自治体もあります。

そこで、本市における、過去3年間の高齢者の交通事故発生状況の割合、平成17年、平成22年及び平成27年の運転免許保有者のうち高齢者の占める割合、さらに過去3年間の運転免許証自主返納の状況についてお聞きます。

次に、平成26年12月議会での一般質問において、他市の支援状況を調査研究し、支援策拡充について検討することの答弁がありました。その後の検討状況等を含めた今後の対策について答弁をお願いします。

答弁 過去3年間の第一当事者が65歳以上の交通事故発生状況の割合ですが、平成25年は約14%、平成26年は約17%、昨年は約18%で、交通事故総数



運転免許証の自主返納の支援策は

運転経歴証明書のイメージ

●移住の促進について

●生活困窮世帯の子どもに対する学習支援について

その他の質問

●生活困窮世帯の子どもに対する学習支援について

は減少していますが、65歳以上の交通事故の割合は年々増加しています。次に、65歳以上の運転免許証保有者の占める割合は、平成17年は約12%、平成22年は約16%、昨年は約22%で、年々増加している状況です。次に、運転免許証自主返納の状況ですが、平成25年が135件、平成26年が201件、昨年は236件です。次に、今後の対策ですが、引き続き他市の支援状況を踏まえて、免許証の自主返納者や返納を検討している方々の意見等を参考にし、運転免許証を自主返納しやすい環境づくりに向けて検討を継続していきたいと考えます。

質問 赤堀せせらぎ公園は一級河川粕川沿いにあり、自然林を生かした公園です。子供が遊べるアスレチック広場や研修棟、バーベキュー場、バンガロー、キャンプ場など多くの機能をお任せ持ち、幅広い年齢層が利用できる公園です。この公園は、平成27年6月の突風で大きな被害を受けましたが、その被害状況をお聞かせください。また、過去3年間の利用状況及び管理状況についてもお聞かせください。公園の施設では、バーベキュー場の人気が高く利用者が多いようですが、利用後のごみの片づけに関しては、マナーの悪さが目立つようです。快適な環境のもと、赤堀せせらぎ公園の潜在力をフルに生かすことにより、今まで以上に、子供から高齢の方まで多くの市民に愛される公園になると考えます。そこで、市へ寄せられた苦情や要望に対応の方法をお聞かせください。次に、今後の活用について伺います。かつては公園内にグラウンドゴルフができるスペースがあったと聞いています。グラウンドゴルフ場の復活を望む声が多くあることから、他の利用者との兼ね合いも考慮した上で復活することの意義は大きいと考えますが、本市

赤堀せせらぎ公園について



伊勢崎クラブ 須永 聡

のお考えをお聞かせください。

答弁 平成27年6月発生の突風被害の状況ですが、幹折れ28本、倒木56本、枝折れ36本の計120本でした。過去3年間の公園利用申請件数は、平成25年度が453件、平成26年度が392件、昨年度が325件でした。公園の管理状況ですが、管理業務は委託をし、作業員1人が常駐しています。粕川右岸側の一部は、公園愛護会による清掃活動をお願いしています。

次に、過去3年間に寄せられた苦情は、施設のふぐあいやガラス片の散乱等が8件、要望は、不法投棄された粗大ごみの回収や不法投棄防止の注意看板の設置等が4件です。職員が現地を確認後、業者に修繕や回収を依頼し、看板の設置も行いました。

次に、粕川左岸の南側多目的広場の今後の活用ですが、バーベキュー場やキャンプ場などの現行の利用を優先する中で、グラウンドゴルフの利用者も多いという状況も含め、公園施設の有効活用及び利用促進を図れるように検討していきます。

その他の質問

●ごみ対策について

●公共施設への案内標識について

●ごみ対策について

水道事業について



政経クラブ 多田 稔

質問 全国的に水道施設の老朽化とその更新が課題となっております。そこで、本市の水道管の総延長、昨年度の更新率及びそのペースで100%更新することに要する年数をお伺いします。次に、持続可能な水道事業を実現していくための、アセットマネジメントの取り組み状況についてお伺いします。

答弁 平成27年度における水道管の総延長は1353.1キロメートル、更新率は3.9%で、老朽管131.9キロメートルの更新に必要な期間は26年です。ただし、管路は毎年布設していることから、更新がなくなることはありません。

その他の質問

のストックが多い現状では、財政的に厳しく実践できていません。今後は、さらに資料収集や精査を行い、経営戦略に反映していきたいと考えます。水道料金については、平成26年に総務省から経営戦略の策定が要請され、本市では、平成30年度の策定に向けて準備を進めています。水道は欠くことのできないライフラインであり、生活への影響も大きいことを考慮しながら、料金体系の見直しを検討していきます。災害対応については、災害時の断水などへの対策強化を図るため、昨年度から、みどり市、太田市と上水道相互連絡管設置に関する協議を進めており、本年度は、両市を含む群馬東部水道企業団と具体的な協議を行ってまいります。



水道管の更新工事

●教育支援について

AEDのさらなる普及とバイスタンダーについて



党市 明島 公手

質問 AEDの活用には欠かせないのが、バイスタンダーいわゆる救急現場に居合わせた人の協力をどれだけ得ることができるかということです。AEDの普及が進むほど、応急手当てをした人が、一生に一度あるかないかの体験にショックを受け、心的ストレスに悩むケースがふえています。

岡山市消防局は、救急現場で心肺蘇生を実施したバイスタンダーに対し、連絡カードを配付しています。カードの表面には感謝の言葉、裏面には、救急現場の対応に不安なことがあった場合の相談窓口の連絡先が記載されています。心的ストレスについて相談がある場合は、岡山市消防局救急課が助言を行い、さらに必要があれば、岡山赤十字病院がフォローアップを行います。この取り組みは平成23年1月から開始され、その都度、問題点を改善し、現在の取り組みとなっております。全国的にも、こうした取り組みは広がり、バイスタンダーに安心感を与え、喜ばれているようです。

その他の質問

また、心のケアについては、バイスタンダーが救急現場で傷病者に応急手当を行ったことにより、心的ストレスを受ける可能性もありますので、相談があった場合には心のケアに配慮するとともに、希望により群馬県こころの健康センター等を案内できる体制を整えています。



市で開催する応急手当講習会

●防災・減災対策について  
●消費者行政について

学校給食について



日本共産党議員団 長谷田 公子

質問 学校給食調理場整備再編計画案について、4月15日までパブリックコメントが実施されましたが、寄せられた意見数と内容、計画への反映が可能なのか、お聞かせください。

また、計画の見直しを求める要望書及び署名が提出されたとのことですが、この取り組みに対する受け止め方、反映の考え方を教えてください。

次に、これまで市長、教育長も日本一おいしい給食と発言され、実現されようとしています。そのためには、食材の味や栄養素を生かすきめ細やかな調理方法を取るべきです。この点について、お考えをお聞かせください。

次に、子育て支援策として、第3子などを中心に学校給食費の無料化に踏み切る自治体が県内でもふえ続けていますが、本市の無料化に取り組みをお考えをお伺いします。

答弁 伊勢崎市学校給食調理場整備再編計画案に関するパブリックコメント手続を、3月16日から4月14日まで実施し、104人から御意見をいただきました。要旨を分類すると、調理場設置の方式や食物アレルギー、地場産農作物の利用について多くの御意見をいただいています。今後も御意見を参考に、安心安全な給食を安定的に提

供していききたいと考えています。

また、5月26日に食育で愛と未来をつむぐ会から新学校給食センター計画の見直しを求める要望書が提出されました。3876人の署名や記名があり、新調理場建設計画はもとより、学校給食への関心が高いことを感じています。いただいた御要望を参考に、より安心安全な給食を安定的に提供することを最優先に努めていききたいと考えています。

新学校給食調理場では、品質、鮮度のよい食材を調達する環境を整えていきたいと考えています。また、調達した食材の調理に十分な時間を確保するよう調理設備と調理員を配置し、加工食品等の使用割合を減らせるよう運営していききたいと考えています。

次に、給食費の無料化の件ですが、学校給食法の規定では、学校給食に要する食材費は保護者負担となっております。経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、就学支援制度の利用を図っています。第2子や第3子の学校給食費減額の考えは、現在のところはありませぬ。

その他の質問

●子どもの貧困への対応について  
●公共交通網の構築について

債権管理について



いせさき未来 馬庭 充裕

質問 徴収業務の先進市の船橋市は、高い徴収実績をあげる一方、生活困窮世帯への滞納処分の停止や納税の猶予もふえているそうです。滞納への対応強化は賛否両論ありますが、本日に市民に優しい行政とは何かを考えた時、行わなければならないと考えます。

そこで、市税、国民健康保険税、学校給食費、保育所保育料の収入未済額の現状をお聞かせください。

次に、料金の督促や催告方法の庁内共有化、徴収業務に専念して取り組む滞納整理課のノウハウを生かした標準的な債権管理事務マニュアル作成の考えについてお聞かせください。

また、滞納処分や法的措置が適切に行われているか伺います。

次に、債権管理の一元化と条例制定についての考えをお聞かせください。

答弁 平成26年度決算ベースの現年度分と滞納繰越分を合計した収入未済額は、市税、24億541万6417円。国民健康保険税、34億6341万853円。学校給食費、7076万462円。保育所保育料、2449万6490円です。

債権種類ごとの情報の共有化や、標準的な債権管理事務マニュアルの作成については、今後十分検証した上で検討してまいります。

その他の質問

●学校の節水・節電対策について  
●学習支援の充実について

## 常任委員会審査

6月10日の本会議で委員会付託された議案について、各常任委員会における審査経過及び結果概要は次のとおりです。

### 総務委員会

消防本部訓練塔建設工事請負契約の締結については、審査において、条件つき一般競争入札の条件及び、応札件数について質疑があり、これに対し、市内に本社機能を有し、建築の格付Aに登録され、指名停止を受けていない業者が対象で、10者が応札したものであるとの答弁がありました。

また、訓練塔の内容について質疑があり、これに対し、鉄筋コンクリート造で、7階建て、3階建て、2階建ての3棟を建設するもので、7階建て訓練塔については、濃煙訓練、個室区画や夜間を想定した検索訓練、はしご車を使用した救出訓練が行える建物で、3階建て訓練塔については、土砂災害を想定した救助訓練が行え、多目的訓練室として利用される建物で、2階建て訓練塔については、燃焼実験室が装備される建物であるとの答弁がありました。

さらに、工期について質疑があり、これに対し、議決日翌日から平成29年3月15日までを予定しているとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付

番号	件名	付託先	期日	結果
第78号	市道路線の認定について	建設水道	6.27	可決(全会一致)
第79号	市道路線の変更について	建設水道	6.27	可決(全会一致)
第80号	境いよく保育所新築工事請負契約の締結について	付託なし	6.27	可決(全会一致)
第81号	人権擁護委員候補者の推薦について	小保方弘明氏(日乃出町)	6.27	異議ないものと決定(全会一致)
第82号	人権擁護委員候補者の推薦について	石原文武氏(美茂呂町)	6.27	異議ないものと決定(全会一致)
第83号	人権擁護委員候補者の推薦について	萩原政江氏(山王町)	6.27	異議ないものと決定(全会一致)
第84号	人権擁護委員候補者の推薦について	長岡澄子氏(国定町一丁目)	6.27	異議ないものと決定(全会一致)

### 議員提出議案

番号	件名	付託先	期日	結果
第4号	保育士のさらなる処遇改善と配置基準の見直し及び財源確保に関する意見書案	付託なし	6.27	可決(全会一致)

### 報告

番号	件名	期日	結果
第19号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	6.10	報告

### 請願

番号	件名	付託先	結果
第2号	消費税10%増税中止を求める請願	総務	審査未了

### 陳情

番号	件名	送付先
第2号	被爆者が核兵器を禁止し廃絶する条約を呼びかけた国際署名や、国への意見書などへのご協力を求める陳情	総務

託された2議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 文教福祉委員会

伊勢崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案については、審査において、小規模多機能型居宅介護事業所の事業内容について質疑があり、これに対し、利用登録者29人以下を対象として、通いを中心に、訪問と宿泊を組み合わせ、入浴、排せつ、食事等の介護、その他日常生活上の世話及び機能訓練を提供するものであるとの答弁がありました。

また、新たな人員基準について質疑があり、これに対し、小規模多機能型居宅介護事業所の敷地内に地域密着型通所介護事業所を併設する場合においては、看護師または准看護師の兼務を認めるものであるとの答弁がありました。次に、伊勢崎市養護老人ホーム条例を廃止する条例案については、審査において、民営化に伴う市のかかり方について質疑があり、これに対し、伊勢崎市老人福祉法施行細則に基づき福祉事務所長名で措置委託するため、入所者の処遇は従来と同様であり、預かり金などの関係を指導していききたいとの答弁がありました。

次に、損害賠償の額を定めることについては、審査において、損害賠償の支払い方法について質疑があり、これに対し、全国自治体病院協議会の保険に加入しており、同協議会から支払わ

れる保険金を、損害賠償金として相手方に支払うものであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された4議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 建設水道委員会

市道路線の廃止については、審査において、(伊)2126号線の廃止理由について質疑があり、これに対し、土地有効利用を目的とする、道路の払い下げにより廃止するものであるとの答弁がありました。

次に、市道路線の認定については、審査において、(伊)11609号線及び(伊)11610号線の認定理由について質疑があり、これに対し、(伊)11609号線については、JA佐波伊勢崎農業協同組合の敷地であった土地の開発により、築造された道路を認定するものであり、(伊)11610号線については、個人の所有であった建物を解体し分譲することに伴い、築造された道路を認定するものであるとの答弁がありました。

また、(伊)411019号線及び(伊)411020号線の認定に至る経過について質疑があり、これに対し、三郷第三土地区画整理事業に伴う土地開発により築造された道路を認定するものであるとの答弁がありました。

## 政務活動費収支報告

政務活動費は、地方議会の活性化や議員の調査研究その他の活動基盤の充実等を図る観点から、これらの活動に必要な経費の一部を助成するものです。執行状況は、市のホームページで公開しています。

## 平成27年度 会派別政務活動費収支報告

会派名	人数	交付額	支出額
伊勢崎クラブ	17人	7,140,000円	7,171,358円
政経クラブ	5人	2,100,000円	2,103,791円
公明党	3人	1,260,000円	1,217,689円
日本共産党議員団	2人	840,000円	796,972円
正論の会	1人	420,000円	425,907円
いせさき未来	1人	420,000円	455,021円

## 平成28年第3回定例会提出議案等の審議結果

### 市長提出議案

番号	件名	付託先	期日	結果
第71号	伊勢崎市市税条例等の一部を改正する条例案	総務	6.27	可決(全会一致)
第72号	伊勢崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	6.27	可決(全会一致)
第73号	伊勢崎市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	6.27	可決(全会一致)
第74号	伊勢崎市養護老人ホーム条例を廃止する条例案	文教福祉	6.27	可決(全会一致)
第75号	消防本部訓練塔建設工事請負契約の締結について	総務	6.27	可決(全会一致)
第76号	損害賠償の額を定めることについて	文教福祉	6.27	可決(全会一致)
第77号	市道路線の廃止について	建設水道	6.27	可決(全会一致)

## 市議会の情報をホームページで公開

市議会では、会議日程や会議録、傍聴の案内など本会議や委員会に関する情報を初め、議員名簿や政務活動費などさまざまな情報を市のホームページ(<http://www.city.isesaki.lg.jp>)に掲載しています。

また、本市議会は開かれた議会を目指しており、平成28年9月定例会から本会議のインターネット中継を開始する予定です。

インターネットでの配信は、パソコン、スマートフォン等により、生中継のほか、録画配信で本会議の様子をごらんいただけます。視聴にあたっては、今後市議会ホームページ内に設置されるリンクからごらんください。



伊勢崎市議会のバナーをクリック

**永年在職特別功労議員顕彰・  
全国市議会議長会  
在職25年表彰受賞**

矢島征司氏及び北島元雄氏は、市議会議員として、25年有余の長きにわたり、市民福祉の向上と市政の発展に多大の貢献をされました。

市議会では6月10日、本会議開会冒頭の議場において、伊勢崎市議会議員顕彰規程に基づき、矢島征司氏、北島元雄氏を永年在職特別功労者として顕彰するとともに、永くその功労をたてるため、矢島征司氏につきましては、肖像画を議事堂内に掲揚しました。

また、両氏に対して市長から感謝状が贈られました。

さらに、全国市議会議長会から長年在職議員として表彰されたことに伴い、表彰状の伝達を行いました。



矢島征司氏



北島元雄氏

**全国市議会議長会  
在職10年表彰受賞**

市議会議員として、多年にわたり市政の発展と振興に努められた功績により、羽鳥基宏氏が全国市議会議長会から表彰されました。

これに伴い、6月10日、本会議開会冒頭の議場において、表彰状の伝達を行いました。



羽鳥基宏氏

**全国市議会議長会  
感謝状受賞**

全国市議会議長会評議員として、会務運営の重責にあたり使命達成に尽くされた功績により、野田文雄氏が全国市議会議長会から感謝状を受賞されました。

これに伴い、6月10日、本会議開会冒頭の議場において、感謝状の伝達を行いました。



野田文雄氏

**議員提出議案**

今回の定例会に提出された議員提出議案は意見書1件で、6月27日の本会議で可決しました。

なお、意見書については、国の関係機関に送付し善処を要請しました。

**保育士のさらなる処遇改善と配置基準の見直し及び  
財源確保に関する意見書**

2015年4月、子ども・子育て支援新制度（以下「新制度」という。）が施行された。新制度では消費税を財源に保育の質の改善及び量的拡充を目指しているが、財源確保も含めていまだ十分とは言えない。保育の現場では、保育士の給与水準の低さや実態に合わない配置基準による労働条件の厳しさなどから離職者が後を絶たず、さらに新規就労者も少ないことから、保育士の確保が厳しい状況にある。

よって、国においては、保育士のさらなる処遇改善や配置基準の見直しを図り、そのための必要な財源を安定的に確保するよう、以下について強く要望する。

記

1. 安定した十分な予算を確保し、労働条件に見合った保育士の処遇改善をさらに進めること。
2. 児童の年齢ごとに定められている保育士配置基準について、安全性の確保や質の改善を踏まえ、実態に即したものに見直すこと。

**次回定例会日程表(予定)**

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1	2 本会議	3
4	5	6	7 本会議	8 本会議 (一般質問)	9	10
11	12	13 決算特別 委員会	14	15	16 本会議	17
18	19	20 総務 委員会	21 文教福祉 委員会	22	23 経済市民 委員会	24
25	26 建設水道 委員会	27	28	29	30 本会議	10/1

**議会を傍聴しましょう**

本会議は議場で、決算特別委員会及び常任委員会(総務委員会、文教福祉委員会、経済市民委員会、建設水道委員会)は委員会室で行われ、開会は、午前10時からの予定です。

なお、日程、時間等は変更になることがあります。